



Notoくらぶ

就労移行支援・就労継続支援 A 型・就労継続支援 B 型・就労定着支援 (New)
放課後等デイサービス・相談支援・就労困難大学生支援 (New)

「気付き」で高める
はたらくチカラ

障害のある方の就労を「ワンストップ」でサポート

2018 年秋、利用ニーズをさらに充足するために従来サービスを見直すと共に、新サービスを導入します。

【CONTENTS】

- ・就労移行支援キャリアセンタープラスの新カリキュラム「SojiPro」のご紹介と1月のカレンダー
- ・就労定着支援事業「Noto カレッジ・ウィズ」サービス開始のご案内
- ・東海地区の就労困難大学生支援の取り組み
- ・今月の就職事例（キャリアセンタープラス）
- ・各事業部のご紹介

のとよーびのトピックス・お知らせ

生徒さん募集中！！

就労準備型「のとよーび」では、将来就労を目指す高校生に対し、働くチカラを身につけるトレーニングを行っています。働くイメージを持ちながらトレーニングすることや楽しみながら学ぶことはとても大切なことだと考えています。お子さんの将来を一人ひとりイメージしながら働くに繋がる支援をしていきます。早い時期に働くイメージをつけ、「可能性」につながる「気づきスイッチ」を見つけていきましょう。実践・コミュニケーション・機能トレーニングを中心に毎日たくさんのお子さんが頑張っています。

NotoBee のトピックス・お知らせ

利用者募集中！！

私たち Noto カレッジが目指す「就労継続支援 B 型 / NotoBee (ノトビー)」は、利用される方たちに、『はたらくためのチカラ』を高めて、もっと社会で活躍するぞ！』という気持ちをいつまでも持ち続けられる、そんな事業所を目指します。具体的業務に、珈琲の麻袋を活用したトートバックの制作業務があります。ハサミを使い解体する作業・アイロン掛け作業・ミシンを使う縫製作業などがあります。それ以外にも、パソコンのデータ入力作業や箱折りや袋詰めなどの軽作業もあり、利用される皆さんの可能な作業を行っています。

ワークセンターのトピックス・お知らせ

N news コーヒー麻袋バッグ「NNews」
I only sensibility

ネットでも販売しております。
ハンドメイドサイト minne にアクセス！

Noto college はたらくチカラ **体験・見学会 受付実施中！！**

TEL 0584-77-7631
担当 加藤・田中まで

就労移行支援キャリアセンタープラスの 新カリキュラム「SojiPro」のご紹介と

1月のカレンダー

新カリキュラム「SojiPro」とは、ビジネスマナーやコミュニケーションなど個別のカリキュラムを総合的かつ実践的に模擬会社として業務を行うことにより、仕事に対する主体的・合理的に行う能力と会社場面における態度を身に付ける内容です。

Sojiproを開始して数か月が経ちました。その中で利用者さんの行動、表情が大きく変わっています。声掛けが苦手だった人が「いま、よろしいですか？」と相手を見て言うことが出来たり、他の方が営業に出る際に「いってらっしゃい」「お疲れ様です。」など自分の仕事を止めて挨拶ができたり、また自分の仕事もしっかりとこなし、プレゼン資料を作成したりと様々な業務を行って力をつけています。

自分の課題に気づいた人には、職員からアドバイスをもらい、それを意識して再度取り組みます。実践形式だからこそ気づける SojiPro で多くの事を体験し、アピールできることや課題を見つけ、たくさんの気づきを力に変えて社会に飛び立ってほしいと思います。

Sojiproは、そんな気づきのプログラムです。

- 1月15日 「もっと自分を好きになる」自分との信頼関係の創り方講座
- 1月16日 会社で求められる人材ってどんな人？
- 1月20日 コミュニケーション 第一印象って大事♪
- 1月24日 パソコン授業 エクセル Word
- 1月30日 できること、できないことを見極めよう！

東海地区の就労困難大学生支援の取り組み



大学生の就職活動・進路相談会 (随時受付中)

現在大学（院生、短大、専門学生含む）に在学されている学生で、まだ就職が決まっていない方、就職活動（3年生でも可）や卒業後の進路に悩んでいるご本人やご家族の方のご相談などお気軽にお問合せ下さい。現在も大学在学中の学生も就労移行支援を利用しています。

進路相談ご希望の方は
052-212-9610 まで
担当：徳本（とくもと）



ご質問にお答えします！
お気軽にお問合せ下さい

大学生以外の方でも
ご相談はOKです

10月14日（日）名古屋駅前のウイंक愛知にて「働くチカラ PROJECT 実践報告会」が開催されました。Noto カレッジキャリアセンター NEXT（名古屋栄：就労移行支援事業所）センター長の徳本（一般社団法人 fabriqa 事務局長）より春先より取組んできたコミュニケーションが苦手、発達障害の大学生の就労支援の取り組み、大学生在学中の就労移行支援事業所の活用、最後に今後の東海エリアの大学生支援についてなどの報告が行われ、会場には80名以上の大学関係者、行政、福祉事業所など多数の方に参加いただきました。現在名古屋栄のNoto カレッジキャリアセンター NEXT にて働くチカラ PROJECT 基礎講座をSTARTしておりますのでご興味ある方は一般社団法人 fabriqa (<http://www.fabriqa.biz>) をご覧ください。

今月の就職事例（キャリアセンタープラス）

最近就職されたHさんは、勉強好きで歴史にも詳しく学習を好んでされていました。就労で苦労され、Noto カレッジの就労移行支援キャリアセンタープラスの利用を開始しましたが、朝の体調が安定せず、当初は日数を少なめにご利用されていました。授業は、グループワークやコミュニケーション、ビジネスマナーなどのカリキュラムに参加し、徐々に利用日数が増えていきましたが、グループワークにおいては他者の態度や言葉に憤りを感じる事が多少ある方でした。しかし、人との関わり方の学びは、今後の社会生活において必要だと感じておられ、授業に参加して自身の対応方法を身につけていかれました。

また職員と相談の上で利用時間を変更してみたり、週5日の通所にチャレンジしてみたりと多くの努力をされました。

ただどうしても朝の時間が苦手で体調が不安定になる状況でしたが、本人さんが関心のある一般求人を探して来られ、実習を受けてみたいと強くご希望されましたので、職員は、障がい枠でない求人で実習可能かの懸念はありましたが、企業さんへ打診しました。

すると障がい者雇用を進めようとしていた企業様であることが分かり、実習も快く受け付けて頂きました。企業様が、勤務時間や日数などにも配慮していただき、就職につながりました。

本人さんが自分で考えて努力してきたことと、Noto カレッジでいろいろと試し、挑戦したことで就労につながった就職事例でした。

就労定着支援事業 「Noto カレッジ・ウィズ」 サービス開始のご案内



Noto カレッジは、過去5年間で51名の卒業生（就職者）※定員10名を送り出し、その方たちの定着支援を行ったノウハウを活かした就労定着支援を「Noto カレッジウィズ」として2018年10月から開始しました。

就労定着支援事業とは、利用者との相談を通じて生活面の課題を把握するとともに、企業や関係機関等との連絡調整やそれに伴う課題解決に向けて必要となる支援を行う事業です。

定着支援を行って感じることは、一部ではありますが本人さんと企業の直接の担当者間でちょっとしたズレがあるように思います。本人は「頑張っていっぱいいっぱいで気持ち的にギリギリで仕事している」けれど、担当者からは「普通にこなしてくれて問題ないです」といった感想が聞かれます。このような状況で就労定着支援は、本人さんの気持ちに寄り添うこと、企業さんへ状況を伝えること、また企業さんの困りごとにも助言等で支援を行います。

入社後7か月目から最大3年間の利用が可能で、本人さんと企業さんとのパイプ役として、定期的に訪問や来所によって雇用が長く定着するような支援を行ってまいります。